

税理士

---

2025年度 簿財横断  
無料体験冊子  
理論テキスト

---

れっく **LEC** 東京リーガルマインド



0 000812 250686

HL25068



**第1章 財務会計総論 I**

章別頁数・総頁数

1 会計の意義と分類 .....	1-1 ( 2)
2 財務会計の目的と機能 .....	1-4 ( 5)
3 会社法会計と金融商品取引法会計 .....	1-5 ( 6)
4 会計公準論 .....	1-7 ( 8)
5 会計主体論 .....	1-8 ( 9)
6 一般に公正妥当と認められる企業会計の基準 .....	1-9 (10)
7 貸借対照表観 .....	1-11 (12)
8 利益計算 .....	1-13 (14)
9 テクニカルターム・トレーニング .....	1-16 (17)
10 確認問題 .....	1-18 (19)

**第2章 一般原則**

1 企業会計原則と一般原則の概要 .....	2-1 (22)
2 真実性の原則 .....	2-3 (24)
3 正規の簿記の原則 .....	2-5 (26)
4 資本取引・損益取引区分の原則 .....	2-7 (28)
5 明瞭性の原則 .....	2-9 (30)
6 継続性の原則 .....	2-11 (32)
7 保守主義の原則 .....	2-13 (34)
8 単一性の原則 .....	2-15 (36)
9 重要性の原則 .....	2-16 (37)
10 テクニカルターム・トレーニング .....	2-18 (39)
11 確認問題 .....	2-21 (42)

**第3章 損益会計**

1 期間利益計算総論 .....	3-1 (44)
2 費用の認識 .....	3-5 (48)
3 収益の認識 .....	3-7 (50)
4 費用収益対応の原則 .....	3-15 (58)
5 収益及び費用の測定 .....	3-17 (60)
6 テクニカルターム・トレーニング .....	3-19 (62)
7 確認問題 .....	3-21 (64)

## 第4章 資産会計

---

1 資産会計の概要 .....	4-1 ( 66)
2 棚卸資産 .....	4-11 ( 76)
3 有形固定資産.....	4-16 ( 81)
4 無形固定資産.....	4-29 ( 94)
5 繰延資産 .....	4-31 ( 96)
6 テクニカルターム・トレーニング .....	4-37 (102)
7 確認問題 .....	4-42 (107)

## 第5章 負債会計

---

1 負債会計の概要 .....	5-1 (110)
2 引当金 .....	5-7 (116)
3 偶発債務.....	5-15 (124)
4 テクニカルターム・トレーニング .....	5-17 (126)
5 確認問題 .....	5-19 (128)

## 第6章 財務諸表

---

1 財務諸表の種類 .....	6-1 (130)
2 損益計算書 .....	6-2 (131)
3 貸借対照表 .....	6-7 (136)
4 テクニカルターム・トレーニング .....	6-12 (141)
5 確認問題 .....	6-16 (145)

## 第7章 財務会計総論Ⅱ

---

1 連携利益観 .....	7-1 (148)
2 収益費用アプローチ.....	7-2 (149)
3 資産負債アプローチ.....	7-3 (150)
4 テクニカルターム・トレーニング .....	7-5 (152)
5 確認問題 .....	7-6 (153)

## 第8章 概念フレームワーク

---

1 概念フレームワークの概要.....	8-1 (156)
2 財務報告の目的.....	8-4 (159)
3 会計情報の質的特性.....	8-5 (160)
4 財務諸表の構成要素.....	8-8 (163)
5 財務諸表における認識と測定.....	8-14 (169)
6 テクニカルターム・トレーニング.....	8-19 (174)
7 確認問題.....	8-24 (179)



# 第 1 章 財務会計総論 I

# 第1章 財務会計総論 I

## 目次

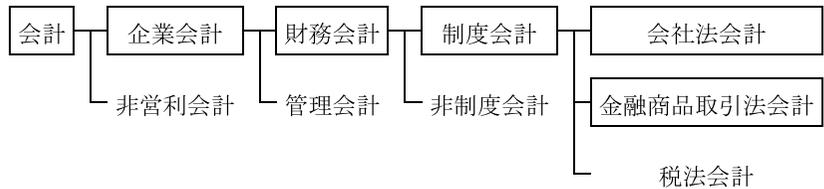
- 1 会計の意義と分類
- 2 財務会計の目的と機能
- 3 会社法会計と金融商品取引法会計
- 4 会計公準論
- 5 会計主体論
- 6 一般に公正妥当と認められる企業会計の基準
- 7 貸借対照表観
- 8 利益計算
- 9 テクニカルターム・トレーニング
- 10 確認問題

## 1 会計の意義と分類 BANK

### (1) 会計の意義

会計とは、ある特定の経済主体★<sup>1</sup>の経済活動を、貨幣額などを用いて計数的に測定し、その結果を報告書にまとめて利害関係者★<sup>1</sup>に伝達するためのシステムをいう。経済主体の経済活動を直接的に把握することは困難であり、ここに会計の存在意義がある。

### (2) 会計の分類

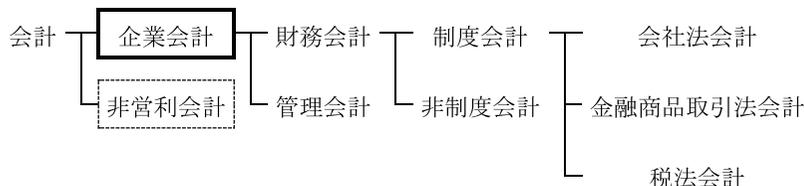


税理士試験の財務諸表論では、「会社法会計」と「金融商品取引法会計」を学習する。我が国には百万社以上の株式会社があるが、会社法はこの全てに適用される。これに対して、金融商品取引法が適用されるのは上場会社等のみであり、その数は四千社に満たない。この2つの会計の位置付けについて、順を追って説明する。

### ワンポイント

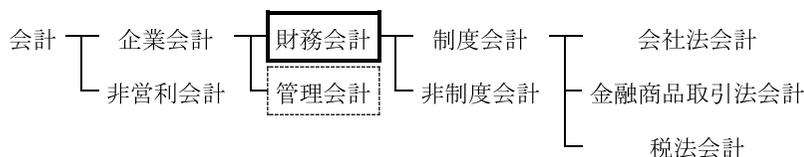
★<sup>1</sup> 税理士試験で学習する財務会計においては、「特定の経済主体」は会社であり、「利害関係者」は株主、債権者、投資家である。

① 企業会計と非営利会計



会計は、その対象となる経済主体によって、「企業会計」と「非営利会計」に分類される。「企業会計」の経済主体は営利目的の企業であり、これには小規模な零細企業から上場している巨大企業まで、すべての企業が含まれる。一方、「非営利会計」の経済主体は非営利組織であり、これには宗教法人や学校法人、行政機関等が含まれる。

② 財務会計と管理会計



企業会計は、会計情報の報告先によって、「財務会計」と「管理会計」に分類される。「財務会計」は企業外部者を報告先とする企業会計であり、「管理会計」は企業内部者を報告先とする企業会計である。

1) 財務会計

財務会計とは、株主、会社債権者、投資家などの**企業外部の利害関係者**に対して、企業の経営成績、財政状態及びキャッシュ・フローの状況等を提供することを目的とする企業会計である。

2) 管理会計 (参考)

管理会計とは、**経営者を中心とする企業内部者**に対して、企業の経営管理に有効な情報を提供することを目的とする企業会計である。

財務会計と管理会計

	財務会計	管理会計
意義	企業外部の利害関係者に対する会計情報の報告を目的とした会計	企業内部の経営者に対する会計情報の報告を目的とした会計
報告先	企業外部の利害関係者 (株主・債権者・投資家)	企業内部の経営者
社会的規制	(原則として) あり	(原則として) なし
測定方法	主として貨幣的測定	貨幣的測定に限定されない (物量的測定も含む)
内容	過去の・要約的な情報	過去の・要約的な情報に 限定されない (将来的・詳細な情報も含む)

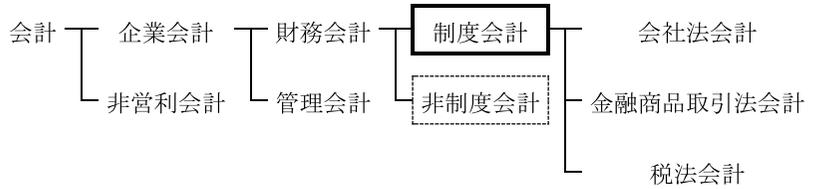
 用語解説

★2 インベスターズ・リレーションズ(I R)  
企業が自主的に行う投資家向けの広報活動

 ワンポイント

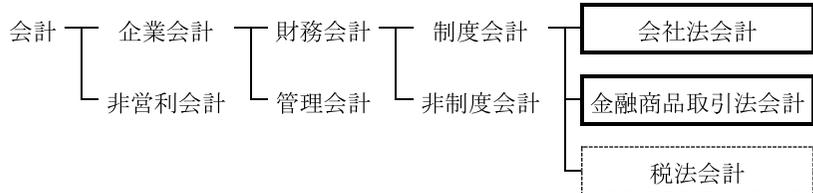
★3 財務諸表論の学習の念頭に置かれているのは、会社法会計と金融商品取引法会計である。税法会計については、基本的に法人税法等で学習する。

③ 制度会計と非制度会計



財務会計は、法令の規制の有無によって、「制度会計」と「非制度会計」に分類される。「制度会計」は法令の規制を受ける財務会計であり、企業外部者を報告先とする財務会計の適正な報告を、法令の規制によって担保するものである。一方、「非制度会計」は法令の規制を受けない財務会計であり、インベスターズ・リレーションズ★2 (I R) などが該当する。

④ 会社法会計、金融商品取引法会計と税法会計



制度会計は、規制する法令の種類によって、「会社法会計」、「金融商品取引法会計」及び「税法会計★3」に分類される。「会社法会計」は会社法の規制の下に行われる制度会計、「金融商品取引法会計」は金融商品取引法の規制の下に行われる制度会計、「税法会計」は主として法人税法の規制の下に行われる制度会計である。



れっく **LEC** 東京リーガルマインド

著作権者 株式会社東京リーガルマインド

(C) 2024 TOKYO LEGAL MIND K. K. , Printed in Japan

無断複製・無断転載等を禁じます。

HL25068